

# 公安委員会定例会議(第15回)の開催状況

第1 日 時 令和2年6月17日(水)

午後1時30分 ～ 午後4時25分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員  
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官  
生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長  
警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

## 1 増田委員説示

ニューヨーク市の病院で新型コロナウイルス感染症の治療を指揮していた49歳の女性医師が自殺したとの新聞記事を読みました。この医師は一日18時間勤務し、病院の廊下で睡眠をとり、自らも感染し、回復したものの自殺したそうです。

精神科医のヴィクトール・E・フランクルは、1947年、「夜と霧」を出版し、ナチスの強制収容所に送られた自らの体験を綴っています。収容所では、生きていく希望を失った人間から死んでいったという状況の中で、自殺を口にするようになった2人の収容者に対し、その人に備わっているかけがえのなさを意識させ、再び生き続ける気持ちにさせた体験を記し、過酷な状況下でも、希望をなくさないこと、人生が自分に期待している何かがあると気付かせ未来の目的を見つめさせることが重要であると説いています。

フランクル自身は、収容所で離れ離れになった妻との再会を信じて生き抜きました。

警察官も、過酷な現場に向き合うことが多々ある職業です。過酷な現場に臨む際には、①期間を限定して明示する、②交代要員を準備するなど、職員の心が壊れないように組織的に配慮していくことが必要です。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和2年第14回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

- (2) 警察記念日表彰における公安委員表彰の選考  
警務部から、警察記念日表彰における公安委員表彰の選考について伺いがあり了承した。
- (3) 審査請求の申立て及び総括審理官等の指名  
警務部から、審査請求の申立て及び総括審理官等の指名について伺いがあり了承した。
- (4) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞  
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果28件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

### 3 報告事項

- (1) 令和2年6月定例県議会の開催  
総務室長から、令和2年6月定例県議会の開催について報告があった。
- (2) 「令和2年版まもると安心の白書」の発行  
警務部長から、「令和2年版まもると安心の白書」の発行について報告があった。
- (3) 令和2年度愛媛県警察事務職員等採用試験の申込状況  
警務部長から、令和2年度愛媛県警察事務職員（上級）等採用試験の申込状況について報告があった。  
委員から、「若手担当者の柔軟な発想も活かしつつ、より多くの優秀な人材の確保に努めていただきたい」との発言があった。
- (4) 愛媛県警察メンター制度の推進状況  
警務部長から、愛媛県警察メンター制度の推進状況について報告があった。  
委員から、「この制度は、採用間もない若手職員を、組織で温かく見守るものであるとともに、助言・指導を行う先輩職員の能力を高めることにもつながり、素晴らしいものと感じている。引き続き、同制度をしっかりと活用していただきたい」との発言があった。
- (5) 交通重大事故抑止3か月対策の実施  
交通部長から、交通重大事故抑止3か月対策（第3期）の実施について報告があった。  
委員から、「子どもの交通事故防止に向けた対策等もしっかりと行っ

ていただきたい」との発言があった。

(6) 脅迫事件被疑者の逮捕

生活安全部長から、脅迫事件被疑者の逮捕について報告があった。

(7) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(8) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(9) 今治市内における殺人事件捜査

刑事部から、今治市内における殺人事件捜査について報告があった。

(10) 愛媛県暴力団排除条例等の改正

刑事部から、愛媛県暴力団排除条例等の改正について報告があった。

#### 4 その他

本部長から、「我々は厳しい現場で対応しなければならないこともあるが、委員の説示にもあったように、一人一人を孤独にせず、いかに組織で対応し個人の心理的負担を和らげていくかが重要であると考えている」、「新型コロナウイルス感染症に関しては、自粛期間も明け人々の動きが活発化していく様子もうかがえるが、我々は慎重を期して、段階的な対応をとっていきたい」との発言があった。

以 上